

第2回とりアートオペラ公演実行委員会報告

日時 平成25年10月31日(木) 18:00~20:00

会場 倉吉交流プラザ2F 第二研修室

司会 吉田章一(とりアートオペラ公演実行委員会事務局長)

議題

口報告事項 これまでの経緯について事務局代行の計羽孝之より、次のように報告がありました。当日の報告に補足したコメントを始めに説明します。

・平成25年4月30日発文書で、平成27年度鳥取県総合芸術文化祭メイン事業公演オペラ「魔笛」実行委員会参加について依頼いたしました。その団体は、鳥取オペラ協会4名/鳥取県合唱連盟1名/鳥取県オーケストラ連盟1名/鳥取県洋舞連盟1名/鳥取県ピアノ指導者協会1名/鳥取県演劇連盟/その他(中部代表として)の皆様呼びかけましたところ、演劇連盟の参加が得られませんでした。また、鳥取県ピアノ指導者協会から1名の追加の申し入れがあり、12名の実行委員で取り組むことを確認しました。

・平成25年7月14日、とりアートオペラ公演実行委員会準備会を開催し、実行委員会会則、役員選出、運営体制、企画内容、予算、スケジュールについて話し合いました。

・平成25年7月19日、演出担当の中村敬一氏と基本的な公演構想についてミーティングし、次のようにまとめました。

○演出の方向性として鳥取県の伝統芸能を生かす演出をする。○美術担当は、増田寿子氏を指名。照明担当者は、榎木実氏を指名。衣装担当は下斗米雪子氏を指名。音響担当は小野隆浩氏を指名。舞台制作は、(株)スタッフユニオンに依頼する。字幕は制作業者に依頼する。オーケストラサイズは3フルトとする。オーディションの時期は、平成26年4月とする。平成27年5月10日(日)にプレ事業として「魔笛」ガラ・コンサートを行う。コレペティトゥーアは田島亘祥氏とする。ディクシオンには高折續氏とする。副指揮者・合唱指揮者は地元で起用し、総合プロデューサー一任。キャストについては、演出上ダンサー及び子供たちを使う。黙役は県内のプロ俳優を使う。オーディションは絶対評価で決定する。適任者がいない場合は、県内外での委託。又は交流のある韓国江原道の歌手を起用することもある。ソリストのギャラは、主要キャストの場合(キャリアによって設定する。)予算は、試案の範囲で行う。ゲネプロは、児童・学生に公開する。

・平成25年8月16日、第1回とりアートオペラ公演実行委員会を開催し、とりアートメイン事業部会より委託された概案にそって、事業展開することを決定しました。更に 実行委員会運営体制 ・会則の決定、とりアートオペラ公演実行予算案の決定、スケジュールの決定、そして役員を選出しました。

・その後の経過については、下記の通りです。

- 1) 委託契約については平成25年9月29日、とりアート事務局長「野崎氏」との間で締結しました。
- 2) 企画書については、概案を示し、大筋を決定しました。
- 3) スタッフ委託については、制作部会にて、正式契約することになりました。

口協議事項について、次のように提案され、了解されました。

(1) とりアートメインオペラ公演広報チラシ・ポスターについては、チラシ(A4両面カラーで5,000枚)・ポスターについては、B2サイズ5枚を主要施設のみに掲示することになりました。今年度のとりアートより広報開始するものとし、担当は広報部にて行う。デザイン及び制作委託を「絵画工房やまと」に依頼することが了解されました。今年度のとりアート公演すべてに、広報チラシを配布することになりました。

(2) オペラ公演オーディションについては、基本的に企画制作部が担当する。オーディション要綱の作成は、次のように行うことが了解されました。基本的に要項は、生原清明氏が担当します。具体的記載事項である、課題曲の選定は、とりアートオペラ公演実行委員長の西岡千秋氏が取りまとめ、指揮者の松岡究・演出の中村敬一両氏のアドバイスを得て最終決定することになりました。なおオーディションは、高いレベルでの公演を担保するため、絶対評価で先行します。該当者が得られなかった場合は、外部から起用することが了解されました。その

候補として、これまで鳥取オペラで起用した歌手(松森治 Bs、谷浩一郎 Tn、)、鳥取県出身の歌手(山本耕平 Tn、谷口伸 Br、藤田俊介 Tn、小鉄和広 Bs、伊藤京子 Sp、浦池佑佳 Sp、中原美幸 Sp)、鳥取オペラ協会と交流のある韓国江原道の歌手(オ・ソンリョン Tn、パク・ビョンフン Bs、ミン・ウンホン Sp)を起用する方向が了解されました。

(3) 合唱団編成については、核となるメンバーを確保し、オーディション公募で選定する。又、欠員がある場合は、既存の合唱団の中から選考し、依頼する。担当は西岡千秋。

(4) 平成 25 年度予算案の策定について提案され、大筋で承認されました。

(5) スケジュールについて、当初計画が一月ずれたため再検討し、提案通り了解されました。

(6) 今後の詳細日程について、オーディション時期の決定を平成 26 年 5 月頃としました。

(7) 役員の仕事分担仕分けについては、提案通り承認されました。

役職	氏名	所属団体	備考	所属部会	
委員長	西岡千秋	鳥取オペラ協会副会長	制作プロデューサー	制作	オーディション課題曲の選定作業
副委員長	生原清明	鳥取県合唱連盟	企画委員長	制作	オーディション要綱作成
委員	吉田章一	鳥取オペラ協会事務局長	公演事務局長	広報	実行委員会運営業務
委員	鈴木百百子	鳥取オペラ協会事務局員	会計	広報	実行委員会運営業務・HP等の運営
委員	計羽孝之	鳥取オペラ協会会長	総合プロデューサー	制作	事業展開総括
委員	目次裕子	鳥取県洋舞連盟会長		制作	出演者渉外
委員	御船みゆき	鳥取県洋舞連盟		広報	広報一般
委員	井上拓也	鳥取県オーケストラ連盟		広報	オーケストラ担当
委員	尾坂俊恵	鳥取県ピアノ指導者協会会長		技術	練習会運営
委員	新田恵理子	鳥取県ピアノ指導者協会		技術	練習会運営
委員	吉田奈穂美	とりアート中部地区実行委員会		技術	練習会運営・演出補佐
委員	松本厚志	鳥取オペラ協会理事	監査	監査	会計監査

以上、報告いたします。

平成 25 年 11 月 1 日

とりアートオペラ公演実行委員会

事務局長 吉田章一